

「ごちゃませ！」のまちづくり



有 近 眞知子

誰一人、取り残さない。みんなの力を引き出して、形にする

令和2年(2020)、石川県金沢市・白山市・輪島市に出掛けました。各地で目の当たりにしたのは、子どもから高齢者まで、障がい・疾病の有無や国籍に関わらず多彩な人々それぞれが「居場所と役割」を持って交流し共生する姿でした。名付けて「ごちゃませ！」のまちづくりです。

私はこのまちづくりを推進することにより、誰一人として取り残されない、全ての県民が幸せを感じられる、そんな山口県の明るい未来を目指しています。

「ごちゃませ！」のまちづくりとは？

このまちづくりは、平成26年度に内閣府が採択した「生涯活躍のまち」先行7モデルの一つとして始まりました。場所は石川県輪島市です。市の中心部に点在する空き家や空き地を利活用して、高齢者福祉施設や温泉、飲食店などの新しい施設が誕生。それぞれの施設では、高齢者や障がいを持つ方も役割を担っています。そして、各施設に地域内外の多様な人たちが訪れ、互いの交流が生まれたのです。

子どもから高齢者、障がいや疾病の有無、国籍の違い、これらがまさしく「ごちゃませ！」になった交流と共生のまち。これが「ごちゃませ！」のまちづくりです。



日頃の「ごちゃませ！」が防災、復興を支える！

この度の能登半島地震で、輪島市のごちゃませ関連施設は被災しました。地理的な条件や厳しい天候も重なり、支援や復旧復興には想像以上の困難があるようですが、ごちゃませを手がける佛子園や青年海外協力協会(JOCA)は、日頃から、全国各地で地域コミュニティの再生や、東日本大震災・熊本地震での復旧・復興支援活動に取り組んで来たため、早い段階からの復旧復興支援が可能になったそうです。今後は、仮設住宅の管理・運営も担うそうで、こうした地域との繋がりが強い団体の活動が、まちを守り、行政の負担を軽減するだけでなく、行政と民間の連携・協働によって早期復興の原動力になっています。



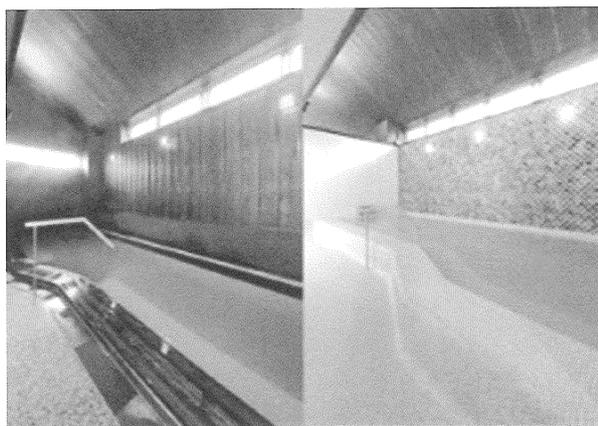
石川県輪島市
人口25,700人
(R2年12月)



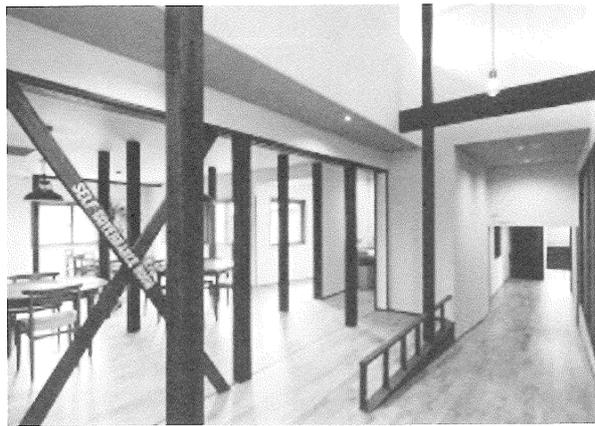
After 拠点施設／輪島KABULET ・高齢者デイサービス ・温泉 ・食事処



空き家・空き店舗になっていた物件をリフォームして活用しています。



天然温泉 三ノ湯・七ノ湯



高齢者デイサービス

空き家は昔の面影を残しながら、交流施設（温泉、食事処、カフェ）や福祉施設（放課後デイサービス、高齢者デイサービス、訪問介護ステーション）、ゲストハウスなどに生まれ変わっていました。これらの施設は、高齢者や障がい者の雇用の場にもなっていました。

各施設には地域の内外から人々が集まり、そこで働く人たちも含めて、多様な人たちの温かな交流が

生まれていました。それはまるで、隣近所が助け合って生きていた「顔の見える」、かつてどこにも存在した古き良き時代の「まち」の姿です。そして「まち」はかつての賑わいを取り戻しつつあります。

この事例を知り、これを山口県にも広げたいと思うようになりました。

子どもから高齢者まで、障がいの有無や国籍に関わらず誰もが、取りこぼされることなく「居場所と役割」がある。そんな「ごちゃまぜ！」のまち（地域コミュニティ）づくりを県内各地で推進し、「県民が幸せと感じられる県づくり」に貢献したいと考えています。



親子で楽しむカフェ・カブーレ



住民のためのスポーツジム ゴッチャ！ウェルネス輪島



障がい者向けグループホーム アサンテ



ゲストハウスうめのや

関連情報

「ごちゃまぜ」効果で街に活気を 柳井で講演：朝日新聞デジタル (asahi.com)

<https://digital.asahi.com/articles/ASP9Z7DGGP9ZTZNB003.html>

山口県柳井市ごちゃまぜによるコンパクトなまちづくり勉強会 - YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UCEQ-EXSbazC7rFUkSVZZsgA>